

平成29年中 愛知県

11年連続ワースト1位!!

ドロボウ!! 住宅を対象とした侵入盗の実態



1 住宅を対象とした侵入盗被害件数は全国ワースト1位

愛知県の住宅を対象とした侵入盗の件数は、年々減少傾向にあります。平成19年から平成29年まで11年連続「全国ワースト1位」です。

さらに、平成29年はワースト2位との差が約660件あり、全国的に見ましても突出した発生件数となっています。

住宅を対象とした侵入盗

	空き巣	忍込み	居空き
3,676件	2,663件	851件	162件
前年比-11.5%	前年比-15.0%	前年比+1.9%	前年比-13.4%
全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト2位	全国ワースト4位

住宅対象侵入盗：空き巣、忍込み、居空きの3つを指します

○空き巣…留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口

○忍込み…夜間就寝中などに侵入して金品を盗む手口

○居空き…入浴中、食事中などのスキに侵入して金品を盗む手口

2 市区町村別認知件数ランキングと犯罪

1位「一宮市」、2位「春日井市」、3位「豊田市」
あなたの住む街は？〔多発上位50市区町村(名古屋市を除く)〕

順位	市区町村	認知件数	犯罪率	順位	市区町村	認知件数	犯罪率	順位	市区町村	認知件数	犯罪率	順位	市区町村	認知件数	犯罪率
1位	一宮市	291	1.98	14位	守山区	77	1.07	27位	大府市	50	1.35	40位	大口町	32	3.66
2位	春日井市	196	1.54	14位	安城市	77	1.06	28位	瀬戸市	48	0.93	40位	弥富市	32	1.93
3位	豊田市	168	0.96	16位	あま市	74	2.16	29位	愛西市	44	2.04	42位	津島市	31	1.28
4位	豊橋市	148	1.00	16位	江南市	74	1.95	29位	碧南市	44	1.59	42位	港区	31	0.50
5位	小牧市	125	2.06	18位	北名古屋	72	2.07	29位	犬山市	44	1.52	44位	大治町	30	2.35
6位	緑区	120	1.22	19位	豊川市	69	0.98	32位	南区	43	0.69	44位	東海市	30	0.63
7位	稲沢市	104	2.04	20位	千種区	63	0.72	33位	中区	42	0.73	46位	長久手市	29	1.11
8位	中川区	101	1.03	21位	西尾市	61	0.99	33位	昭和区	42	0.74	46位	瑞穂区	29	0.58
9位	岡崎市	100	0.65	22位	名東区	60	0.79	35位	東区	40	0.94	48位	蒲郡市	28	0.92
10位	刈谷市	99	1.54	23位	中村区	56	0.81	36位	東浦町	36	1.90	49位	田原市	27	1.23
11位	天白区	98	1.28	24位	岩倉市	52	2.49	37位	日進市	35	0.98	49位	みよし市	27	1.16
12位	北区	90	1.16	24位	清須市	52	1.83	37位	半田市	35	0.73				
13位	西区	83	1.15	24位	尾張旭市	52	1.58	39位	知多市	34	1.01				

犯罪率：1,000世帯あたりの認知件数
平成29年12月1日現在の世帯数をもとに算出

3 被害の実態

(1) 被害総額及び発生手口の割合

住宅対象侵入盗

	合計	1件当たり
被害総額	約28億3,874万円	約77万2,000円
うち現金被害	約9億9,122万円	約27万0,000円

被害総額は、約28億円余りと前年を約9億円下回るとともに、現金被害については約10億円となり、前年と比較して約3億5千万円の減少となりました。

1件当たりの現金被害額については約27万円となっており、多額の現金は手元には置かないようにするとともに、自動車等の鍵も玄関先等に置かないようにしましょう。

～ 現金以外の被害品ランキング ～

順位	現金以外の被害品	認知件数
1位	バッグ・財布類	817
2位	貴金属・宝石等	562
3位	時計類	394
4位	キャッシュカード	274
5位	預金通帳・預金証書	240
6位	クレジットカード	226
7位	運転免許証	137
8位	商品券	127
9位	衣料品類	112
10位	健康保険証	107

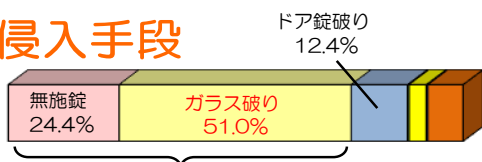
※被害品が複数ある場合は、それぞれ計上しています。

(2) 空き巣と忍込み・居空きの実態

空き巣

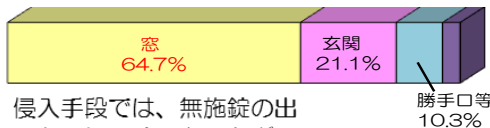
- 前年に比べ認知件数は減少しましたが、未だ全国ワースト1位となっており、全国的に見ても突出した発生となっています。
- 愛知県の特徴として、ガラスやドア等の建物部品を破壊等して侵入するなど、施錠だけでは防げない荒っぽい手口が多く見られます。
- 夕方から夜にかけての時間帯は、電気のついていない家が留守であるとわかるため、狙われやすくなっていると思われます。

侵入手段



「無施錠」と「ガラス破り」で75.4%を占める

侵入場所



侵入手段では、無施錠の出入口から侵入するものとガラスを破壊等して侵入する手口が全体の約75.4%を占めており、これらの被害の多くは鍵を確実にかけるとともに、補助錠を活用していれば防ぐことができたものです。

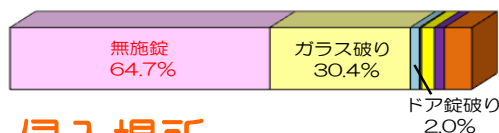
在宅時も確実に鍵を掛けるとともにCP部品や補助錠等を活用して、被害を未然に防止しましょう。



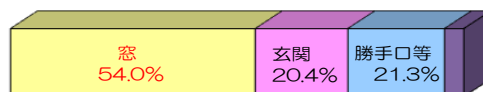
忍込み・居空き

- 前年に比べ「忍込み」の認知件数は増加し、全国ワースト2位となり、「居空き」の認知件数は減少したものの全国ワースト4位と愛知県内で多発している手口です。
- 「忍込み」「居空き」共に、家人が在宅中に犯人が侵入するもので、侵入に気づいた場合に、強盗や殺人などの凶悪犯罪に発展する恐れがあるため非常に危険です。

侵入手段



侵入場所



侵入手段では、「無施錠」箇所からの侵入が約65%と多くなっています。



無施錠箇所からの出入口は、窓、玄関の順ですが、勝手口の無施錠スライド窓を開けて侵入される手口も発生しています。

不在の部屋の施錠や、就寝前の施錠を習慣づけましょう。



1 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。

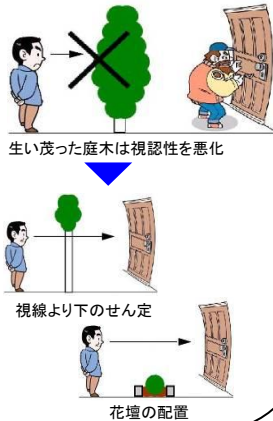
 <p>時間</p> <p>侵入までに時間のかかる建物部品を！</p> 	 <p>光</p> <p>家の周りを明るく！</p> 	 <p>音</p> <p>警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！</p> 	 <p>地域の目</p> <p>住民同士の連携、不審者への声掛けを！</p> 
---	--	---	--

2 防犯環境設計

「防犯環境設計」とは、犯罪企図者に犯罪を「やりにくい」、「やめよう」と思わせる工夫をした建物や住環境の設計のことです。防犯環境設計には4つの基本的な原則（要素）があり、これらを組み合わせて導入することが重要です。

監視性の確保

- 庭木のせん定、花壇の配置、メッシュ柵の活用などにより、自然な監視性を確保する。
- センサーライト、門灯などを配置して夜間の見通しを確保する。

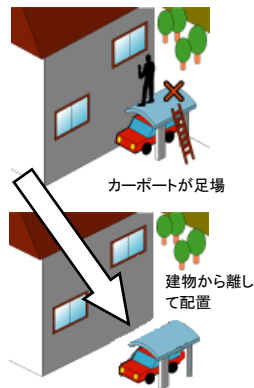


領域性の確保

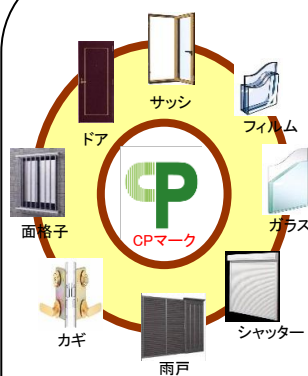
- 住民同士のあいさつ運動などを展開し、不審者を寄せ付けられない環境を形成する。
- 地域のコミュニティを活性化し、地域全体の領域性を高める。



- カギ付の門扉を設置するなど、建物そのものに近づけさせない。
- 塀、カーポート、物置を建物から離して設置したり、エアコンの室外機を窓の下に設置しないなどし、高窓、2階への足場を利用させない。



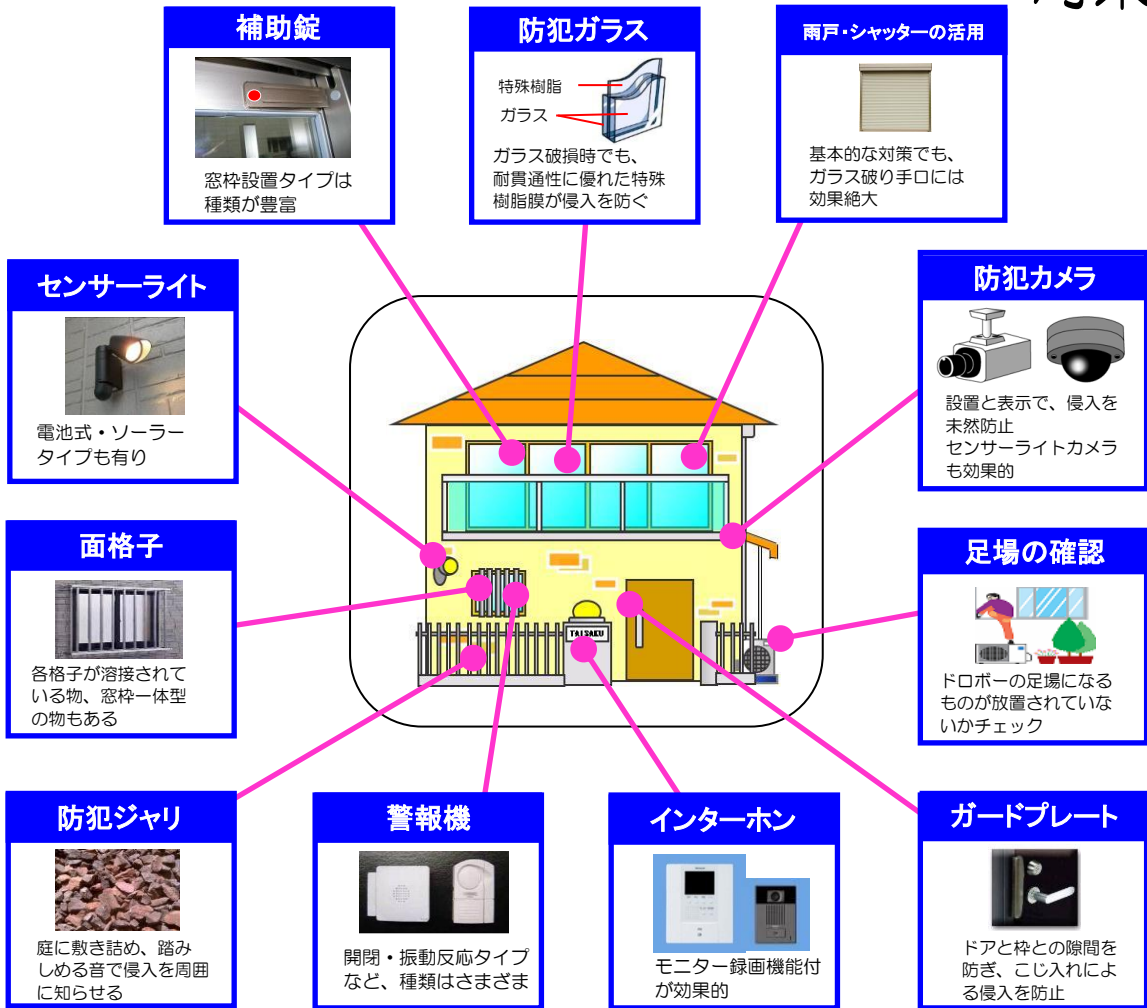
接近の制御



- 「CP建物部品」でドア、窓、面格子などを強化する。
- 補助錠、サムターンカバーなどで、窓、ドアの防犯性を補強する。

対象物の強化

3 具体的な防犯対策



ドロボウと闘う『CP建物部品』って何？



警察庁が国交省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓等の各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」等一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品＝CP建物部品」として公表しました。 ※ CP (Crime Prevention) = 防犯



侵入までに5分かかるとドロボウの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。

CPマークは、ドア、錠、ガラス、サッシ、シャッター等17種類3,300品目以上に使用されています。



★ 企業・団体・グループの方へ
防犯情報、交通安全情報は、「すぐメール」から防犯及び交通安全に関する資料・情報などを主に配信します。登録は右のQRコードから！！



★ 個人の方へ
犯罪情報、不審者情報は、「パトネットあいち」からお住まいの地域で発生した犯罪や不審者の情報をタイムリーに配信します。登録は右のQRコードから！！

